

2022年11月22日

各位

三井住友信託銀行株式会社

グリーンローンの契約締結について
(日本電気硝子株式会社)

三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:大山 一也、以下「当社」)は、日本電気硝子株式会社(代表取締役社長:松本 元春、以下「日本電気硝子」)との間で、ローン・マーケット・アソシエーション(以下「LMA」)(※1)等が定めた「グリーンローン原則」に則した「グリーンローン」の融資契約(以下「本件」)を締結いたしました。

グリーンローンは、国内外のグリーンプロジェクトに要する資金を調達する際に用いられる融資です。調達資金の用途がグリーンプロジェクトに限定されるほか、資金の追跡管理や融資実行後のレポートイングを通じ、透明性が確保されるなどの特徴を有しています。

本件は株式会社日本格付研究所(代表取締役社長:高木 祥吉)より、グリーンローン原則への準拠性およびSDGsへの貢献度についてグリーンローン評価「Green 1(F)」(※2)を取得しています。また、グリーンローン評価の取得費用について、令和4年度二酸化炭素排出抑制対策事業等補助金(グリーンボンド等発行支援体制整備支援事業)の認可を受けています。

当社では、グリーンローンなどのサステナビリティに関するソリューションの提供により、SDGs達成に資するお客さまのさまざまな事業活動を支援するとともに、お客さまの中長期的な企業価値の向上に貢献することを引き続き目指していきます。

<日本電気硝子について>

日本電気硝子は、大切にしている価値観として“自然との共生”を掲げ、「世界一効率の高いモノづくりこそが、世界一環境にやさしいモノづくりにつながる」との考えのもと、品質や歩留まりの向上を通じて省エネルギーやCO₂排出削減に取り組んできました。2022年2月には、2030年のCO₂削減目標と2050年のカーボンニュートラル達成を目標とすることを公表し、現在、全電気溶融設備の水平展開や省エネ設備への切り替え、再生可能エネルギーへの投資等、野心的な施策を推進しています。

日本電気硝子は、カーボンニュートラルの達成および持続可能な社会の実現に向け、本ローンによる資金をこれらの施策に活用する予定です。

(※1) ローン・マーケット・アソシエーション(LMA)

欧州、中東、アフリカのシンジケートローン市場の流動性、効率性、透明性を改善することを目的とした協会であり、60ヶ国以上に属する700以上の機関が加盟しています。

(※2) グリーンローン原則への準拠性およびSDGsへの貢献度についてグリーンローン評価

株式会社日本格付研究所のウェブサイトをご参照ください。

<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>

< 本件の概要 >

契約締結日	2022年11月22日
実行金額	35億円
資金使途(グリーンプロジェクト)	① 全電気溶融炉への切り替え ② カーボンニュートラルの推進 ③ 太陽光発電システム ④ 再生可能エネルギーの活用及び脱炭素促進
ストラクチャリング・エージェント	大和証券株式会社

< 資金使途(グリーンプロジェクト)の概要 >

日本電気硝子は、本件により調達した資金を、以下の適格クライテリアを満たす新規又は既存のプロジェクトに係る新規ファイナンス資金又はリファイナンス資金に充当いたします。

グリーンボンド原則 事業区分	適格クライテリア	関連する SDGs
エネルギー効率 (省エネ設備)	<p>全電気溶融炉への切り替えに係る設備投資・研究開発 (付帯設備も含む)</p> <p>カーボンニュートラルの推進に資する製造プロセス・ユーティリティ設備への投資(工場及び事務所への省エネ性能の高い機器・設備の導入・改修)</p> <p>< 設備の例示 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 工場排熱利用設備 燃焼管理強化設備 窯制御システム 乾燥炉排ガス利用設備 空調機器 照明器具のLED化 <p>※ただし、約30%以上のエネルギー消費量の削減が見込まれるものに限る</p>	     
再生可能エネルギー	太陽光発電システムに係る設備投資	
高環境効率製品、環境適応製品、環境に配慮した生産技術及びプロセス	<p>再生可能エネルギーの活用及び脱炭素促進に資する技術、製品の研究開発</p> <p>< 製品例 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ガラスファイバ(風力発電用風車ブレード等) 全固体 Na イオン二次電池 CO₂フリー燃料(水素等) 	

以上